

事務事業名		県民スポーツ大会参加事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				組織	担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸
	施策	1	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	生涯スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15050	一般	10	5	1	県民スポーツ大会参加事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S59年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-14			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育祭及び各種スポーツ大会の優秀選手を栃木県民スポーツ大会に派遣する。 ・同大会は、県民のスポーツへの関心を高めるべく、20競技22種目を市対抗戦で、オープン競技を5種目実施している。 ・市対抗競技(20競技):水泳、ママさんバレーボール、陸上、軟式野球、ソフトボール、卓球、ゲートボール、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、硬式テニス、サッカー、剣道、柔道、弓道、相撲、クレール射撃、ライフル射撃、グラウンドゴルフ ・オープン競技(5競技):ホッケー、ハンドボール、ラグビー、空手道、銃剣道 					主な事務 :大会参加者の集約(8~9月)、大会への参加(10月)。 大会開催日:平成28年10月16日、23日 参加種目 :19競技(うちオープン競技1) 大会成績 :総合3位/14市 成績上位種目:【優勝】陸上競技、ソフトテニス、サッカー 【準優勝】バレーボール(男) 【第3位】水泳、ママさんバレーボール、柔道						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
					開催競技数	競技	26	26	25	25	25
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
佐野市の代表選手					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
					代表選手数	人	268	276	279	278	280
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
①「市民ひとり1スポーツ推進」としてスポーツの普及、振興を図る。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
②生涯スポーツの振興を図る					参加競技数	競技	18	20	19	19	19
③大会を通じて健康・体力の保持増進の啓発を図る。											
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
スポーツ・レクリエーションに親しんでもらう。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
					週に1回以上スポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合	%	40.7	40.6	38.5	40.5	45.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	271	319	293	376	378					
	事業費計(A)	千円	271	319	293	376	378					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			消耗品費	54	消耗品費	65	消耗品費	63	消耗品費	79	消耗品費	78
			食糧費	166	食糧費	191	食糧費	174	食糧費	237	食糧費	240
負担金			51	負担金	63	負担金	56	負担金	60	負担金	60	
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5					
	のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100					
	人件費計(B)	千円	389	394	389	384	384					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	660	713	682	760	762					

事務事業名	県民スポーツ大会参加事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	--------------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	栃の葉国体開催5周年を記念して開催するようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	県レベルでの競技スポーツのみならず、スポーツレクリエーションも含めた生涯スポーツの重要な大会の1つとなっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 スポーツの振興、生涯にわたっての健康維持、体力の保持増進、活力ある地域づくりを目的に開催される大会で、その大会に参加することは当然結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
委ねられる・委ねられる可能性がある	理由・改善案 市民が市代表として参加する大会なので、市がバックアップするのは当然であるが、選手推薦は体育協会各専門部が行うため、派遣事務等を協会に委託し、選手輸送を市が行う等の棲み分けする考え方を協議する必要がある。	
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？		
妥当である	理由・改善案 佐野市選抜代表選手の派遣事業であるので妥当である。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がかなりある	理由・改善案 栃木県体育協会主催の大会で選手の派遣が主要事務であるが、大会成績が選手の参加モチベーションに、市民に対してスポーツ立市のアピールに繋がってくる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 類似事務事業名 県南五市対抗親善総合競技大会企画事業 大会の主催者が異なるため統合・連携はできない。	
*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費については、選手の弁当代や参加に必要な消耗品(各市割当)しかなく必要最低限である。また、職員は必要最低限の人数で行っており削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求めると必要がない	理由・改善案 市の代表として参加するので受益者負担を求めると必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	県の実施するイベントへの参加であり、また、スポーツ振興により市民1スポーツの推進を図るため終了はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	競技人口に偏りがあるため、盛り上がりがない競技がある。マイナー競技をいかに振興していくかは難しい。																						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
			コスト																						
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
競技スポーツ強化事業と連携し、更に高まるように促していきたい。																									